

2018

GD&PC

Design & Planning
Competition
for Gensai

減災

デザイン & プランニング

コンペ 2018

テーマ：
災害からの学びを活かす

コンペ 2017 成果より*



福島県から発信する「贈る備蓄食」／井関 紅葉
最優秀賞



非常時の心と体を守るレスキューランジェリー／本間 麻衣
最優秀賞



Cup-Cap-Baby／岩崎 希美
優秀賞

明日、我が身に降り掛かるかもしれない災害。

その時のために、あらかじめ進めるべきことに、デザインはどう関与できるのか…？

あなたのアイデア・デザインを発信しよう！

応募期間 2018年 1月17日(水)～2月6日(月)

展示会期 2018年 3月20日(火)～4月8日(日)(予定)

最終審査 (展示会期中の土日の1日にて調整を予定)

■主催：一般社団法人 芸術工学会 特設委員会 II 「減災と復興へのデザイン力」 減災デザイン・プロジェクト

■協力：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター、ほか(予定)

<http://www.gensai-design.com>

※過去の受賞作品を WEB サイトでご覧いただけます。


GENSAI

減災のアイデアを、 社会に発信しよう！

開催要旨

「減災」とは、避けることのできない自然災害に対し、その被害をできるだけ少なくするための備えという考えです。この視点での提案を求めるコンペを実施します。

私たちの日常は、突如非日常に変わります。誰もがその可能性の中にあります。災害を経験し、それを克服する中で、私たちは学びを蓄積し、次の避けられないその時に備えていくべきでしょう。そのためにデザインには何が出来るのか。プロダクト、グラフィック、建築、まちづくり、コミュニケーションなど・・・カテゴリーを超え、「減災」に向けたデザインやプランニングを募集します。

このコンペでは提案成果に到達するために、災害の経験値やその蓄積された情報等から何を学び、どんな視点・課題に気付いたのかも大切にしています。またこれらの思考の過程と成果は、できるだけ多くの人に共有されることが大切と考え、成果を広く発信し、社会の減災力の向上のために寄与することを目指します。

2018 テーマ

災害からの学びを 活かす

これまでの災害等の現場や経験知から重要と考えるテーマを抽出してください。(提案者自身の被災経験の有無は問いません。) そのテーマについて、あなたが何を学び何が大切だと考えたのかを整理してください。そしてこれからの社会の減災力の向上のために、そのテーマを捉えたデザイン、プランニング、アイデア等を提案してください。あなたが捉えたテーマと提案は、その学びを多くの人に共有していただくことを願い、社会に発信します。(詳しくはWEBサイトにも掲示します。)

■主催：一般社団法人 芸術工学会 特設委員会 II
「減災と復興へのデザイン力」
減災デザイン・プロジェクト

■協力：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター、
兵庫県立大学 減災復興政策研究科、ほか

■事務局：減災デザイン・プロジェクト事務局
代表 相良二朗
〒651-2196 神戸市西区学園西町 8-1-1
一般社団法人 芸術工学会特設委員会 II 内

■問合せ：http://www.gensai-design.com
Web内フォームでお寄せください。
Eメール office@gensai-design.com
担当：森口



コンペ概要

対象 (応募資格)

- ・どなたでも可。プロ・アマを問いません。
- ・発表・未発表は問いません。すでに製品化されているものも可。(ただしその有無をエントリー時に明らかにすること)
- ・グループでの参加も可。
- ・1人(1グループ)につき3提案まで応募可。
- ・ウェブ閲覧、PCからの受信可能なメールアドレスによる連絡ができること。(携帯メールは不可)

提案の方法 (提出仕様)

1) 提案グラフィック (タイトル含む)

A3用紙大：横 297× 縦 420mm (外周 7mm 内に文字情報は記載しないこと)、縦置き 1 ページに表現し、PDF データで提出。(WEB 上にテンプレートあり)

2) テーマレポート

word またはテキストファイルにて提出 (以下 3 項につき各上限 300 字、計 900 字程度)

- ①これまで実際にあった災害・被害等について調査し、学んだこと
- ②テーマを抽出した理由、解決すべき・取り組むべきだと感じた課題について
- ③提案内容やその発案のオリジナリティ等について

3) 提案に伴うエントリー

ウェブサイト上のフォームから必須事項を記入、エントリーしてください。

※用いる言語：日本語または英語。

注意点

- 提案グラフィック内には、審査の公平性・個人情報保護の観点から、個人名、所属団体名、連絡先、ロゴマークなど、個人・企業ブランド・所属等を特定・アピールする情報は掲載しないこと。(既存製品等にプリントされたマーク等が画像に映っていること等は、そのレベルに応じ許容します。)
- 提出に関し、仕様などの必要要件を満たしていない場合は失格となります。
- 知的財産権については別項「提案に関する規則・権利等について」を参照ください。

参加費 (エントリー料) 無料

審査方法

- 第 1 次審査：「提案グラフィック」および「テーマレポート」による書類審査。
- 第 2 次審査：上記書類審査に加え、モデル模型展示、プレゼンテーションを考慮の上、審査会により選考。

表彰・参加賞

審査の結果、審査委員会が選出する最優秀賞ほか、各賞を選定し、表彰します。

1 次審査通過者以上の提案、および全参加者のタイトル・エントリー名を掲載する電子書籍を発行します。これを参加者全員に謹呈します。

審査委員会

齊木崇人 神戸芸術工科大学学長
佐藤 優 神戸芸術工科大学副学長
森山明子 武蔵野美術大学教授、芸術工学会理事
相良二朗 芸術工学会特設委員会 II 代表
下尾邦之 名古屋造形大学プロダクトデザインコース教授
荒木裕子 人と防災未来センター研究部 主任研究員
宮本 匠 兵庫県立大学減災復興政策研究科 講師
平林英二 人と防災未来センター、減災デザイン・プロジェクト
※このほか、デザイン、防災等の関連領域からも委員を招きます。

応募から審査の流れ

[1] エントリー

WEBサイトからエントリーください。同時に提案データをアップロードし、提出ください。

http://www.gensai-design.com

■エントリー&データ提出期間：

2018年1月17日(水)～2月6日(火)

デザイン分野に関わらず、ご参加をお待ちしています。

[2] 1次審査

審査委員会が設定する方法により、書類審査を行います。結果はEメール(およびWEBサイト告知)にて通知します。

[3] 成果展示

第一次審査を通過した提案グラフィックおよびテーマレポートを展示する展示会を行います。

- ・提案者の意向で模型・モデル等の展示もできます。
- ・エントリー点数、模型・モデル等の展示希望数が多い場合、会場の都合に合わせた展示制限基準を設ける場合があります。
- ・模型・モデル等の展示設営のためにかかる費用・送料・交通費などは提案者の負担とします。

■会期：2018年3月20日(火)～4月8日(日)(予定)

■会場：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
西館 1F ロビー (予定) http://www.dri.ne.jp/

[4] 公開プレゼンテーション&2次審査

1次審査通過者によるプレゼンテーションと2次(最終)審査会を行います。

■日時：展示会期中の土または日曜日の午後にて調整の予定(エントリー者には決定次第連絡します。)

■会場：阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
遠方等の理由でイベントに出席できない方にも、映像提出等にてプレゼンテーション機会を提供します。詳しくは1次審査の通過者に通知します。

[5] 表彰

プレゼンテーション&審査会の実施に合わせ、賞の選定と表彰を行います。

[6] ウェブ掲載・電子書籍化による公開

1次審査通過以上の提案から優れたものを取りまとめ、WEBサイトに掲載します。またこの成果を編集した「電子書籍」の出版を予定します。(提案を公開情報化することをあらかじめご了解の上、エントリーください。)なお、この電子書籍(データ)は提案者全員に謹呈します。

提案に関する規則・権利等について

- 応募データは返却しません。
 - コンペ事務局では、コンペの告知等のために、提案内容を使用することがあります。
 - コンペ事務局では、コンペ終了後の成果を、ウェブサイト上での公開、電子書籍の編集・発行などで、一般社会への広い認知を促進します。
 - 知的財産権については：諸権利は応募者にありますので、公開までに権利保持の諸手続きをお奨めします。また既存の製品、提案等につき、意匠、商標等の出願または登録がされている場合はエントリー時にその旨を記してください。なお他者の権利を侵害する恐れがある場合は、賞を取り消すことがあります。
 - 提案を実際の製品化に進めるため等で、提案者と企業等とのマッチング、コラボレーションにおいて、事務局がこのコーディネートを担う場合があります。
- 詳しくは、WEBサイトにも掲示します。